

# 野田・九条通信

2006年・11月号  
NO12  
「野田・九条の会」事務局  
TEL 7122-0502  
ホームページ <http://www17.ocn.ne.jp/~art.9/>

十月例会と活動の報告

## 元気をくれた小森陽一氏の講演会 会場いっぱい 日本を戦争できる国にする「新憲法」を許さない

十月例会は、小森陽一氏の講演会準備もあり、第一週目の土曜日に開催をしました。

事務局から、意見広告の新聞折り込みや講演会準備の状況が報告されました。そして、当日運営の担当を決めるなど準備や段取りを話し、参加者を増やす一層の奮闘を申し合わせました。

九日には、会場近くのヨークマートで講演会の案内チラシを配布し、九条署名運動を進めました。予想を超えた参加者、三百の資料がなくなる

当日は、心配された雨も降らず、右翼の出迎えるを受けることもなく、講演会を開催することができました。

会場は、途中で椅子を並べ足すほどの参加者で埋まり、用意した三百の資料がなくなり、一般紙への意見広告チラシを折り込んだ効果もあってか、当日券が87枚も

売れ入場いただきました。数多い「良かった」の声

「会」呼びかけ人岸田眞氏からの代表挨拶のあと、秋葉啓子さん外八名によるトーンチャイムの楽器演奏があり、原爆投

## 九条への想い 井関実造（千葉土建野田支部・九条の会代表） 憲法九条があるから信頼されている

日本の「平和憲法」は、何千万という世界の人々の命を犠牲にしてできた大切なものです。今、この平和憲法を作り替えようと言うのです。

憲法が交付されて60年間日本は一度も、日本が主体となる戦争は起こさなかつた。また戦争によって一般市民の被害者も一人も出さなかつたのは、世界を見ても先進国ではドイツと日本だけです。

日本国憲法九条は、日本だけの値打ちにとどまらず、世界における平和

下直後広島に入った体験を持つ関綾子さんによる大型紙芝居での戦争体験が語られました。

小森陽一氏の講演は、ユーモアをおりませながら最後まで聴衆を引きつける迫力ある話をしていただきました。

の目標にまでなっています。憲法九条があるからこそ、過去日本に侵略された国々が、今は信頼しているのです。

特に憲法九条を守りたいとの思いは、私たち千葉土建野田支部の仲間の中でも大勢を占めています。

「野田支部九条の会」では、組合が提起した「九条署名」目標一〇六一〇筆（一組合員十筆）を現在八二五二筆に到達していますが、早期に達成させようと奮闘しています。

そのなかで小森氏は、「現憲法は政府を縛っているが、新憲法草案は国民を縛る正反対のものになっている。これはクーデターだ」と改憲論者を厳しく批判をしました。

更に、憲法九条が世界平和に益々大きな役割を果

平和は誰かが与えてくれるものでなく、自分たちの手で作るものです。憲法は国民が守るルールを書いてるのではなく、国民の権利を守るものであり、政府に憲法を全面的に守るよう義務を明記しているのです。

しかし、いま国会で取りざたされている「教育基本法」の改定や「共謀罪」なるものが、国民を監視することになるのも懸念されることから、注視しなければならぬと考えます。

たすことを強調し、この「九条」の大切さを語り広げる事を訴えました。参加者から「これで一番良かった」「次はいつか」の声がありました。



「野田・九条の会」  
十一月例会のご案内  
日時：十一月十一日（土）  
午前十時から  
場所：中央公民館